

作成日：2010年9月17日
最新改訂日：2019年8月6日

安全データシート (SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 化学物質等の名称

製品名： 接触液 nd=1.48～1.65
一般名： 接触液（屈折液）

1.2 会社情報

会社名： 株式会社島津デバイス製造
住所： 〒399-2563 長野県飯田市時又 250
電話番号： 0265-26-9121
Fax 番号： 0265-26-9120
緊急時の連絡先： 0265-26-9121

1.3 推奨用途 ガラス・結晶などの品質検査

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS 分類結果

物理化学的危険性	分類されない
健康に対する有害性	
急性毒性：	区分 4 ^{注1)}
注1) 1-ブロモナフタレン	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	区分 2A ^{注2)}
注2) 1-ブロモナフタレン	
誤えん有害性：	区分 1 ^{注3)}
注3) 流動パラフィン	
環境に対する有害性	分類されない

2.2 GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	H304 - 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ H302 - 飲み込むと有害 H319 - 強い眼刺激
注意書き	
[安全対策]：	取扱後は顔や手など、ばく露した皮膚をよく洗うこと。 この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
[応急措置]：	飲み込んだ場合：直ぐに毒物管理センターもしくは医師に連絡すること。 無理に吐かせないこと。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトを装着していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 目の刺激が続く場合：医師の診察／手当を受けること。 飲み込んだ場合：気分が悪いときは毒物管理センターもしくは医師に連絡すること。
[保管]：	口をすすぐこと。
[廃棄]：	施錠して保管すること。 内容物／容器を承認された廃棄物処理場にて廃棄すること。

この製品は成分の情報から可燃性があると考えられ、火気や静電気等の引火には注意すること。

3. 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別 混合物

3.2 化学名又は一般名 接触液（屈折液）

3.3 成分情報

化学名または一般名	CAS 番号	官報公示整理番号	濃度または濃度範囲 (%)
流動パラフィン	8042-47-5	9-1692	5.5-94.5
1-ブロモナフタレン	90-11-9	—	5.5-94.5

3.4 GHS 分類に寄与する危険有害成分 流動パラフィン、1-ブロモナフタレン

3.5 製品の危険有害性に寄与しない微量成分

該当なし

4. 応急措置

4.1 暴露経路による応急措置

- 吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移動すること。
症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合： すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。
症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 目に入った場合： 数分間水で注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに眼科医の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合： 意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは
毒物管理センターに連絡すること。
口をすすぐこと。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

肺の障害

4.3 応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

5.1 適切な消火剤

水噴霧、泡消火薬剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素、乾燥砂を使用する。

5.2 使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

5.3 火災時の特有の危険有害性

刺激性または毒性の蒸気が発生する恐れがある。

5.4 特有の消火方法

消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火後も容器を十分に冷却する。

5.5 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業の際は、適切な保護具（化学マスクが第一優先）や耐火服を着用する。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、
皮膚への接触や吸入を避ける。
漏れた液をふた付きの容器に集める。
残留液を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

6.2 環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、高濃度の製品の環境中への流出を避ける。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出した液は、密閉できる容器に集め、その後土砂、不活性吸収剤に吸着させて、更に完全にふき取り、密閉式空容器に回収する。作業は必ず保護具を着用し、風上から行う。

6.4 二次災害の防止策

取扱いや保管場所の近傍での飲食、喫煙の禁止。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱い注意事項： 取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

7.2 保管

技術的対策： 保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。

混触禁止物質： 高温物、強酸化剤

保管条件： 強力な酸化剤から離しておく。

加熱を避け、直射日光が当たらない場所に保管する。

容器包装材料： 破損や漏れの無い密閉可能な容器（ガラスなど）を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 許容濃度（暴露限界値、生物学的ばく露指標）

流動パラフィン

ACGIH TLV-TWA (2009) 設定されていない（ただし、ミネラルスピリット (CAS No.8052-41-3)として、TWA=100 ppm (525 mg/m³))

日本産業衛生学会 (2009) 設定されていない

1-ブロモナフタレン

ACGIH TLV-TWA (2009) 設定されていない

日本産業衛生学会 (2009) 設定されていない

8.2 設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

8.3 保護具

呼吸器の保護具： 蒸気が発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。

手の保護具： 手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。

眼の保護具： 眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具： 必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

8.4 特別な注意事項

- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 取扱い場所の近傍では飲食、喫煙の禁止。
- 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質の基本情報

物理状態：	液体
色：	わずかにうすい黄色～黄褐色
臭い：	特異臭
沸点又は初留点及び沸騰範囲：	情報なし
可燃性：	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	情報なし
引火点：	情報なし
自然発火点：	情報なし
分解温度：	情報なし
pH：	情報なし
動粘性率：	情報なし
蒸気圧：	情報なし
密度及び／又は相対密度：	情報なし
相対ガス密度：	情報なし
粒子特性：	情報なし

9.2 その他の情報

情報なし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

情報なし

10.2 化学的安定性

1-ブロモナフタレンは光により変質する。

10.3 危険有害反応可能性

通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。

10.4 避けるべき条件

日光、熱、裸火、高温、スパーク、静電気、その他の発火源

10.5 混触危険物質

高温物、強酸化剤との接触

10.6 危険有害な分解生成物

一酸化炭素（流動パラフィン、1-ブロモナフタレン）・二酸化炭素（流動パラフィン、1-ブロモナフタレン）及び、ハロゲン化物（1-ブロモナフタレン）

11. 有害性情報

11.1 製品の有害性情報

急性毒性:	情報なし
皮膚腐食性／刺激性:	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	情報なし
生殖細胞変異原性:	情報なし
発がん性:	情報なし
生殖毒性:	情報なし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）:	情報なし
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）:	情報なし
誤えん有害性:	情報なし

11.2 成分の有害性情報

流動パラフィン

急性毒性:	（経口）ラット LD ₅₀ > 5,000 mg/kg
皮膚腐食性／刺激性:	ウサギを用いた 24 時間閉塞適用試験で、刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:	ウサギを用いた眼刺激性試験で、刺激性なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	モルモットを用いたマキシマイゼーション試験で陰性
生殖細胞変異原性:	（ <i>in vitro</i> ）サルモネラ菌を用いた AMES 試験で陰性 （ <i>in vitro</i> ）マウスリンフォーマ試験で陰性
発がん性:	マウスに流動パラフィンを 18～24 か月間経口投与した試験で、投与による影響はみられなかった。
生殖毒性:	ラットを用いた一世代生殖毒性試験で、投与による影響なし 雌ラットに 4,350 mg/kg/日を妊娠 6-19 日目に投与した試験で、母動物及び胎児に影響なし。母動物及び胎児の NOAEL > 4,350 mg/kg
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）:	情報なし
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）:	ラットを用いた 90 日間反復投与毒性試験（混餌）（OECD TG408 準拠）で、肝臓および腸間膜リンパ節に影響がみられた。
誤えん有害性:	この液体を飲み込むと、肺に吸い込んで化学性肺炎を起こすことがある。

1-ブロモナフタレン

急性毒性:	経口ラット LD ₅₀ = 810 mg/kg
皮膚腐食性／刺激性:	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	情報なし
生殖細胞変異原性:	情報なし
発がん性:	情報なし
生殖毒性:	情報なし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）:	情報なし
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）:	情報なし
誤えん有害性:	情報なし

12. 環境影響情報

12.1 製品の環境影響情報

生態毒性:	情報なし
残留性・分解性:	情報なし
生殖蓄積性:	情報なし
土壌中の移動性:	情報なし
オゾン層への有害性:	情報なし

12.2 成分の環境影響情報

流動パラフィン

生態毒性:	魚類（ブルーギル） 96 時間 LC ₅₀ > 10,000 mg/L
残留性・分解性:	情報なし
生殖蓄積性:	情報なし
土壌中の移動性:	情報なし
オゾン層への有害性:	情報なし

1-プロモナフタレン

生態毒性:	情報なし
残留性・分解性:	情報なし
生殖蓄積性:	情報なし
土壌中の移動性:	情報なし
オゾン層への有害性:	情報なし

13. 廃棄上の注意

13.1 残余廃棄物

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

13.2 汚染容器および包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

14.1 輸送又は輸送手段に関する特別な安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

14.2 国内規制

非該当

15. 適用法令

- ① 消防法： 流動パラフィン：危険物第4類 第4石油類
1-ブロモナフタレン：危険物第4類 第3石油類
- ② 毒物及び劇物取締法：
非該当
- ③ 労働安全衛生法：
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条、施行令第18条）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）No.168
- ④ 危険物船舶輸送及び貯蔵規則：
非該当
- ⑤ 航空法： 非該当
- ⑥ 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）：
非該当
- ⑦ 輸出貿易管理令：非該当

16. その他の情報

- 参考文献： International Chemical Safety Cards (ICSC) (2003)
International Uniform Chemical Information Database (IUCLID) (2000)
SIGMA-ALDRICH MSDS (2009)
JIS Z 7252 (2019)
JIS Z 7253 (2019)
試薬メーカー提供資料

【注意】本 SDS は作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、注意事項等は通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。